授業科目	歴史Ⅰ		単位数	2	必修	○	前期	
一般科目	○	専門科目	選必		選択		後期	
受講学生	学科	全学科		学年	1年		通年	○
担当教員	学科	一般教科		氏名	松浦　千春			

達成度の点検（できる 5 4 3 2 1 できない）

授業の目標概要	西洋史の展開を中心に概括的な歴史知識・概念を学び、歴史的思考力を培うことを通して、国際社会に生きる日本人としての世界史的・国際的視野の基礎を養う。
対応する本校の教育目標	（B-1），（B-2）
履修上の留意点	授業は講義を中心とする。教科書解説に止まる内容ではないので、教科書には予め目を通して概要を把握し、参考書により地理的・時間的位置を認識・確認して授業に臨むこと。

	日程	授業項目	評価内容	
前期	第1週	①世界史学習の意味と方法	「歴史」と私たちの社会との関係について理解できる	
	第2週	②現代世界の歴史的位置		
	第3週	③地球環境とわたしたちの社会		
	第4週	先史時代と人類	文明の形成について理解できる	
	第5週	古代オリエント文明	①古代オリエント文明について理解できる	
	第6週	（1）古代メソポタミア文明		
	第7週	（2）古代エジプト文明	②エジプト文明について理解できる	
	第8週		③ペルシア帝国について理解できる	
	第9週			
	第10週	地中海世界とギリシア文明	①エーゲ文明について理解できる	
	第11週	（1）地中海文明		
	第12週	（2）ギリシア史の展開とポリス社会	②ポリス社会について理解できる	
	第13週	（3）ヘレニズム世界	③アテネ民主政治について理解できる	
	第14週		④ヘレニズムと世界市民主義について理解できる	
	第15週	達成度の点検		
後期	第1週	古代ローマ帝国	①都市ローマ社会の歩みを理解できる	
	第2週	（1）古代ローマ史の展開と構造		
	第3週	（2）古代ローマの歴史的意味と古代ローマ帝国の遺産	②ローマ帝国について理解できる	
	第4週			
	第5週	（3）キリスト教の成立と展開	③キリスト教の発展を理解できる	
	第6週			
	第7週	ヨーロッパ中世社会	①封建制度について理解できる ②荘園経済について理解できる	
	第8週	（1）中世封建社会の形成過程		
	第9週	（2）封建制		
	第10週	（3）十字軍・ルネサンス・宗教改革	③十字軍について理解できる	
	第11週		④ルネサンスについて理解できる	
	第12週		⑤宗教改革について理解できる	
	第13週	ヨーロッパ「近代」と「市民社会」	「フランス革命」と「人権」について理解できる	
	第14週			
	第15週	達成度の点検		

期末試験の回数	（　2　回）
授業時間数	（　50　時間）
評価方法 評価基準	試験結果(100%)で評価する。詳細は第1回目の授業で告知する。 西洋史の基本的知識・歴史学的基本概念の習得を通した異文化理解、現代に生きる人間としての社会科学的認識、および西欧文化の特質と歴史展開についての理解の程度を評価する。 総合成績60点以上を単位修得とする。
関連科目	歴史Ⅱ、地理、倫理、経済学、哲学、法学

	書名	著者名	発行所	定価
教科書	新世界史	柴田三千雄他	山川出版社	８１０円
参考書	ユニバーサル新世界史資料	帝国書院編	帝国書院	８９０円
オフィスアワー（教員在室時間）		授業の際にお知らせします		